



2020.3月号

プログラミング教育について知ろう

今年、小学校学習指導要領の改訂の年です。英語の教科化など話題は多いのですが、特にプログラミング教育はニュースなどでも取り上げられ目にした人も多いのではないのでしょうか。今回は、プログラミング教育とは何かをお伝えします。

【プログラミングは教育ではない!!】

プログラミング教育は1つの教科ではありません。各教科の中で学習していきます。あくまでも考え方を身につけるものです。理科や総合的な学習の時間で取り上げられることが多いですが、ほかの教科でも学習する可能性があります。



【プログラミング教育とは?】

コンピュータを動かすプログラムやホームページを作るようなイメージを持っている方も多いかもしれませんが、必ずしもそうではありません。プログラミング教育の目的は、デジタル技術を前向きに捉えられるようになること、自分が求める結果を出すためにはどうすればよいかを論理的に考えていく力を身につけることにあります。どちらかという、算数の力より国語の力が必要になります。

また、プログラミング教育は個人で行う学習と、チームで課題に取り組む学習があります。チームで課題に取り組むと意見を聞く力、意見を発表する力が身につきます。



【プログラミング教育の評価方法】

小学校で行われるプログラミング教育自体には成績や評価はつきません。あくまで、考え方などを身につける手段です。ここで身につけた思考法は、さまざまな分野に応用できることとなります。算数や理科以外の教科で実施されることもあるのは、そのためです。必ずしも「理系」の勉強とは限りません。

プログラミング教育は試行錯誤しながら自分なりの答えを導き出すことが重要です。ここで大事なのは失敗することによって「なぜ失敗したのか」を考え、新しい方法や改善方法を振り返ってみることです。またうまくできたとしても、その理由をきちんと説明できることも重要です。

「失敗したらどうしよう」としりごみするのではなく、試行錯誤して失敗した経験を生かす方法を身につける良い機会ととらえましょう。



教室からのお願い

各教室で新年度に向けて、生徒カウンセリングを実施中ですが、生徒カウンセリングに続き、保護者カウンセリングも実施します。お忙しいところ恐縮ですが、新年度からの学習プランを決めていく大切なカウンセリングになりますので、出席の程、よろしく願いいたします。まずは、定例学習報告会の申込書の提出をお願いいたします。

力を出し切れ！

中学3年生の多くが、生まれて初めて直面している受験。受験というのはゴールではなく、新しい人生を始めるためのスタートラインにつくための試練だと私は考えています。現在の中学3年生は、高校に自ら行く決心し、試練を直前に控えている状況です。

この試練の乗り越え方によって今後の人生に大きな影響があると私は考えています。ここから先の人生にいくつもの試練があります。多くの人が最初の試練となっている高校入試に対し、持っている力を出し切れれば、今後の試練にも力を出し切れる可能性が高まります。初めての試練に力を出し切れなければ、今後の試練にも力を出し切れず、後悔し続ける可能性が高くなると思います。

そのため毎年本気で願っています。受験生全員、持っている力を全部出し切れ！と…

釧路愛国教室 瀬賀 伸貴 TEL 0154-32-7870
〒085-0051 釧路市光陽町14-8

奇跡ではなく軌跡

受験勉強もいよいよ佳境ですが、本年度受験生以外の皆さんが油断しているように思えるこの頃です。中高ともに、2年生は1年後、1年生は2年後には受験シーズン真っ最中です。その時、どんな気持ちで勉強していきたいですか？ギリギリで行き先も限られた中で勉強したいか、それとも余裕を持って苦手な部分に集中して勉強したいか。断然後两者を選ぶ方が多いと思います。

後两者を選ぶ為には、それまでの十二分の用意、つまり学習が必要です。試験本番、一本勝負で奇跡は起こりません。自分の辿ってきた軌跡が、今までの努力が、自分自身を助けてくれるのです。

皆さんの軌跡が自信を与えてくれるものになるよう、そして奇跡に頼らずに済むよう、教室では全力でその用意のお手伝いをしています。新年度、全員で笑っていいスタートを切りましょう！

釧路春採SC教室 平山 由香利 TEL 0154-65-6458
〒085-0813 釧路市春採7-1-48

気を抜かず！

苦しかった受験生生活が終わり、一息つきたい3月です。ですが、ここで安心してしまおうと後に悔いを残すことになるかもしれません。

小、中学校はみんなと一緒に卒業することが当たり前ですがこれからはそうはいきません。高校でさぼりすぎると卒業出来ずに留年することもあり得ます。これが大学になると留年は珍しいことではなくなり、4年制大学のはずが、大学5年生、6年生になってしまうこともよくあります。今気が抜けてしまっている人は、志望校合格は決してゴールではなく、新しいステージの始まりなんだということを強く意識するようにしてください。進学したということは、将来の夢に一步近づいた証でもあります。仮初のゴールに惑わされることなく、気を緩めずに未来への歩みを止めないようにしてください。

釧路鳥取教室 藤井 聡史 TEL 0154-65-9933
〒084-0907 釧路市鳥取北10-5-22

受験に向けて

いよいよ公立高校の一般入試日が近づいてきました。いわゆる受験というものですが、この言葉を季語として詠う俳句も世には多くあります。

～受験子よ机に余る背を曲げて～ (田中武彦)

まだ幼いころに買った机は、身も心も大きく成長した受験生にとっては、もう小さなものになっていて、それでもそんな小さな机に何とかしがみついて勉強する姿が想像されます。有り余る背丈をばねのように縮めて、今まさに飛躍しようという力強さも感じます。成長したのは背丈だけではないでしょう。義務教育の9年の間に本当に多くのことを学んだことと思います。その一つの節目となるのが受験です。君の成長の成果を本番で思い切りぶつけるためにも、決して気を緩めることなく、これまで解いてきた問題を繰り返し復習し続けてほしいと思います。がんばれ！受験生！

中標津教室 堀 正太 TEL 0153-74-0900
〒086-1007 中標津町東七条南7-8 2F

答案を仕上げる

答案は仕上げるもの。といってもそのニュアンスを塾生へ伝えることは、簡単そうで難しいものです。入試本番において自分の勉強の成果を伝える唯一の手段。それは答案に他なりません。模擬試験などを採点していると、解答欄が空欄のままの答案に出会うことは珍しいことではありません。しかしそれが記号選択問題ならば、頭を抱えてしまいます。四択ならば例えばアイウエのいずれかを書くべきなのに、それが空欄とは…。答案は自分の考えた解答を採点者に伝えるメッセージです。正確に伝わるよう、ていねいかつきれいに仕上げましょう。そして見直し。やり残しの難問よりは点検が優先です。ミスに気がついてあわてて消さず、まず部分訂正。点検が終わったら、残った問題に全力を傾けましょう。塾生全員、今の自分の力で「もうこれ以上は仕上げられない」と思える答案を仕上げてもらいたい。そう強く願っています！

株式会社 情熱空間 代表取締役 三木 克敏